

# ながさきのふくし

あなたと  
つながる  
長崎のまち

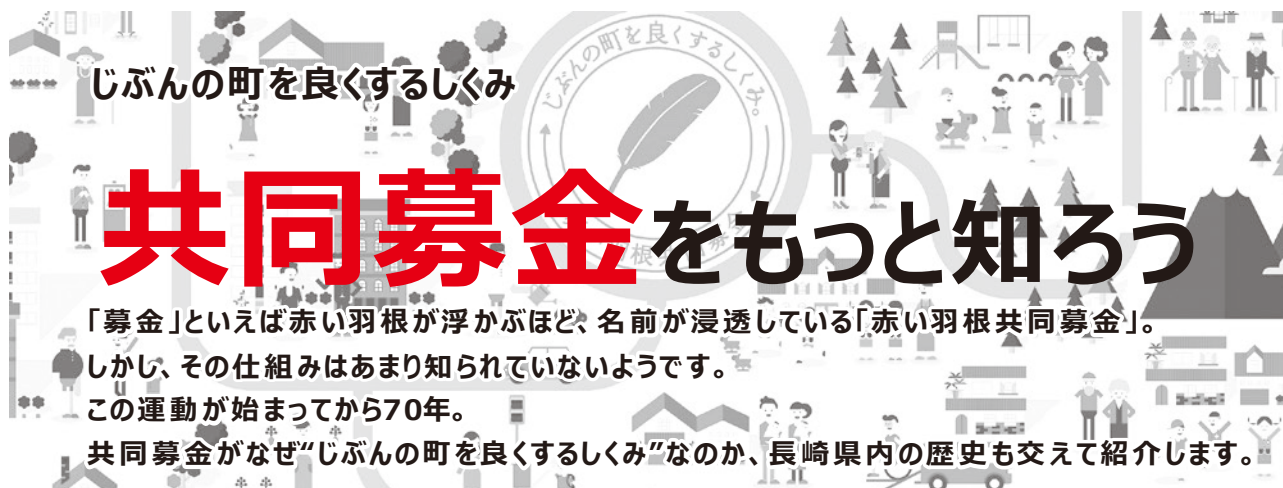


デイサービスセンター加津佐荘での「介護のしごと学び体験ツアー」(P8)

## Contents

**特集「共同募金をもっと知ろう」** .....P2  
**共同募金** .....P5  
 赤い羽根共同募金が10月1日から始まります  
**社会福祉法人の地域貢献** .....P6  
**福祉人材研修センター発** .....P7  
 福祉・介護の就職合同面談会/福祉・介護職場への  
 就職セミナー/「介護職員相談窓口」を開設しています/  
 福祉・介護の魅力を知ろう！福祉のしごと基礎講座・  
 介護のしごと学び体験ツアー

**地域福祉情報** .....P9  
 災害ボランティアセンター運営支援協定締結/長崎  
 県市町社会福祉協議会連絡協議会総会/ご寄付  
 ありがとうございます  
**県社協 Topics & Information** .....P11  
 ボランティア活動振興・助成事業のご案内/ボランティア  
 川柳大募集！/次年度進学をお考えの学生の方へ  
 (お知らせ・お願い)/研修・イベント/編集後記  
 ハート♥お届け便/ながさきのふくしクイズ .....P12  
 知事表敬訪問・県福祉保健部長との意見交換会 ..P12



じぶんの町を良くするしくみ

# 共同募金をもっと知ろう

「募金」といえば赤い羽根が浮かぶほど、名前が浸透している「赤い羽根共同募金」。

しかし、その仕組みはあまり知られていないようです。

この運動が始まってから70年。

共同募金がなぜ“じぶんの町を良くするしくみ”なのか、長崎県内の歴史も交えて紹介します。

## 市民主体の運動「共同募金」

赤い羽根共同募金は、民間の運動として戦後直後の1947（昭和22）年に、市民が主体の取り組みとしてスタートしました。当初は戦後復興の一助として、戦争で打撃をうけた福祉施設を中心に資金支援する活動としての機能を果たしてきました。

その後、「社会福祉事業法（平成12年社会福祉法に改正）」に規定され、「民間の社会福祉の推進」に向けて、社会福祉事業のために活用されてきました。

そして今、社会が大きく変化する中、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組み民間団体を支援する仕組みとして、また、市民のやさしさや思いやりを届ける運動として、共同募金は市民主体の運動を進めています。

## 共同募金の仕組み

共同募金は、地域ごとの使いみちを集める額を事前に定めて、お金を募る「計画募金」です。「助成計画」を明確にすることで、市民の理解と協力を得やす

くしています。

集まった募金の約70％は、募金をいただいた地域で使われ、残りの30％は、みなさんの住んでいる市町を超えた広域的な課題を解決するための活動に、県内で使われています。

また、大規模な災害が起こった際の備えとして、各都道府県の共同募金会で募金額の一部を「災害等準備金」として積み立てています。この積み立ては、大規模災害が起こった際に、災害ボランティア活動支援など、被災地を応援するために使われています。

## 共同募金の使いみち

共同募金の助成は、さまざまな民間社会福祉活動を支援しています。支援される活動の数は年間約7万件。その使いみちは、WEB上のデータベース「はねっ」とで公開されており、助成を受けた団体や、活動に参加した方々からの「ありがとうメッセージ」も掲載されています。

助成（配分）先・助成金額の決定をする「配分委員会」にも

市民が参加しています。

## ボランティアが支える募金活動

共同募金運動は、年間約200万人ものボランティアの皆さんに支えられています。

多くの方々に共同募金運動に参加していただき、たすけあいの心を醸成し、たすけあい運動を行っていくことは、共同募金の大きな願いです。

**戸別募金**：ボランティアの皆さんが、地域の各家庭を訪問して募金を呼びかけ

**街頭募金**：街角や人の集まる場で募金を呼びかけ

**法人募金**：企業を訪問して寄付を依頼

**職域募金**：企業の従業員の方に職場での募金を依頼

**学校募金**：学校で児童・生徒に募金を呼びかけ

**イベント募金**：イベントを企画して募金を呼びかけ



共同募金活動の歴史は長崎から

日本で最初の共同募金活動は、全国的に展開されるより26年も前の1921（大正10）年10月20日から11月2日までの2週間（うち10月22日から24日の3日間は社会事業デー）に長崎市で実施されました。

長崎県社会事業協会（県社協の前身）が実施主体となり、社会事業に必要な資金集めの方法として実施されたこの活動で、衛生組合長、方面委員（現在の民生委員）、婦人団体代表の514名が共同募金委員（募金奉仕者）に委嘱されました。



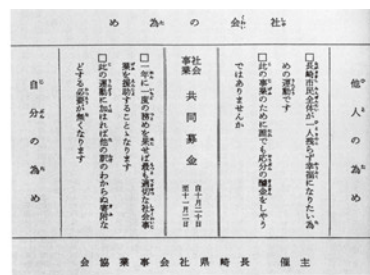
当時のポスター

期間中の社会事業デーには、婦人団体代表者が長崎市内10か所で街頭募金を実施。この時、寄付者には徽章として、婦人団体会員と女子中学生等が手作り

した造花が贈られ、社会事業デーが「花の日」と言われる所以ともなりました。また、路面電車を運行する長崎電気軌道株式会社は、街頭募金に奉仕する婦人団体のために無料乗車券を発行して募金活動を援助しました。共同募金活動が企業による社会貢献も促していたのです。

この共同募金の実績額は3万円を越す好成绩で、約半分が9の施設・団体に、残額は「共同募金資金」として長崎県社会事業協会の特別会計に繰り入れられました。

第2回共同募金会は、翌年から翌々年にかけて実施されました。残念ながら1924（大正13）年から中止となりましたが、その後も方面委員が主催となり、毎年10月上旬に「花の日」会を実施して募金を行ったといわれます。



当時のチラシ

長崎の赤い羽根ものがたり

平成28年度助成で作業用タッチパネルパソコンを購入：多機能型事業所いちごの家

■施設長 吉原田鶴さん（社会福祉法人いちご会 理事長）

いちごの家は、障害のある人が、家族と共に暮らしながら、毎日通所することで、充実した時間を過ごすことができるように作られた場所です。



1990年からタッチパネルパソコンを使ってオリジナルカレンダーを作成しています。26名の利用者が障害に応じて、スタッフと力を合わせながら1人3枚程度のイラストをタッチパネルパソコンで描き、その中からカレンダーに採用するイラストを選びます。このカレンダーの売り上げが利用者の賃金となりますが、これまで2台しかパソコンがなく、作業をしたくてもすぐに取りかかれませんでした。今回の助成でようやくもう2台パソコンを購入できました。来年のカレンダーのイラストづくりに活躍しています。

「タッチパネルは手で直接絵が描けるので簡単で使いやすい。自分が思ったとおりに描けるし、描き直すことも、そして色がとてもきれいと思います。絵を描くのが楽しみです。」（利用者の田中美和さん）

【私が感じる共同募金】

住民の皆さんの助けあいでも成り立っている仕組み。助成を受けるだけではなく、「お互いさま」で私たちが協力していきたいと思ひます。



## 長崎の赤い羽根ものがたり

### 平成28年度助成で障がい者ビーチスポーツ大会ほか：西海市社会福祉協議会

西海市社協は、募金活動を行う「支会」と、助成を受ける「受配者」の両方の面を持っています。

#### ■地域福祉課 堀池沙月さん（支会担当）、宮口憲史さん（受配事業担当）

##### 【支会として】

西海市支会はイベント募金（P2参照）の割合が全体の約5%で、県内平均0.8%に比べ県内で一番大きくなっています。10月～12月の期間中に、釣り大会・ボウリング大会・パークゴルフ大会・グラウンドゴルフ大会・大鍋祭りというイベントをそれぞれ各支所及び本所で担当し、互いに横の連携も持ちながら募金活動を実施しています。ボウリング大会は参加団体の職員間交流としても楽しまれているようです。

イベント募金に取り組むきっかけは、募金額が減少する中「楽しみながら募金してもらうには？」を考えたことで、平成18年から実施しています。

##### 【私を感じる共募】

気持ちよく寄付していただけるよう、募金の仕組みや使いみちとその必要性などへの理解と共感を得るための呼びかけが大切だと思います。（堀池さん）

##### 【受配者として】

「車いすのまま海へ行きたい」という障がいのある方の声、「遠浅の浜を活かしたい」という市民の声に施設や団体、当事者、市民ボランティアを巻き込んで「障がい者ビーチスポーツ大会」を平成18年に開催。「30年ぶりに海の水のしょっぱさを感じた」という声も聞かれた1回目から、今では多くの方がこの日を待ち望む夏の恒例行事になっています。

1・2回目は民間助成金を、3回目以降は共募配分金・参加費・社協会費等を活用して実施していますが、共募配分金の“柔軟さ”を強く感じています。



### 新たな取り組み『テーマ型募金』

「テーマ型募金」とは、助成計画から、緊急的に解決すべき特定の地域課題やそのための活動を募金テーマとして、その課題解決に取り組む団体が主体となって自らの活動を伝え寄付を訴えかける募金手法で「地域課題解決型募金」とも言われます。募金の使いみちがわかりやすいことから、寄付者が共感・賛同する団体の活動に対して直接寄付ができることが大きなメリットです。

従来10月1日から12月31日の3か月間行ってきた募金運動の期間を拡大し、平成28年度からは全都道府県で3月31日までの6か月間の募金活動を実施しており、拡大された1月から3月の期間でテーマ型募金の取り組みが展開されています。（地域により違いがあります）

平成12年の社会福祉法改正で、共同募金の目的として「地域福祉の推進」が明確に位置付けられました。地域において人々が安心して暮らせるよう、地域住民や公私の社会福祉関係

者が互いに協力して地域社会の福祉課題解決に取り組むことは、共同募金会だけではなく、社会福祉法人、ボランティア団体、NPO、当事者団体など多様な団体や地域住民の主体的な参加により推進するものです。共同募金は、地域の課題や解決のための活動を地域住民に伝達し理解と共感を得、住民参加のひとつのかたちとしての寄付を通じて地域課題に必要な資金を集める機能を果たしています。

長崎県共同募金会では、平成28年度からテーマ型募金の取り組みをスタートしました。市民が参加団体専用の郵便振込用紙により寄付したお金が共同募金となり、それぞれの団体へは、募金額から事務経費を控除した額に加え、募金額に応じた加算が赤い羽根募金からなされて助成が行われる仕組みです。

初年度は県内4団体が278万3千円の募金を集めました。今年度も、審査を経て9月中旬に参加団体が決定され、来年1月1日から3月31日の間、募金活動が実施されます。



昨年の街頭募金ではVファーレンのマスコットキャラクターヴィヴィくんも応援!

# 赤い羽根共同募金運動が10月1日から始まります

平成29年度目標額  
2億3,300万円



おかげさまで70周年

共同募金は戦後間もなく「国民たすけあい運動」として戦争孤児など生活困窮者の支援にはじまり、その後、時代の要請に合わせてその役割を拡大・変化し、現在は、社会的孤立や経済的困窮など多様な地域の課題解決を支える募金となっています。今年も社会福祉法の規定により、10月1日から全国一斉に共同募金運動が展開されます。

また、来年1月からは、今日的な生活課題の解決を目指す福祉団体自らが募金活動を行う「T型募金（使途選択募金）」も実施されます。

しかし、ここ数十年、募金額が減り続けています。人口減少や経済的事情など様々な要因はありますが、募金額の減少に伴い、社会福祉施設をはじめ、社協、社会福祉団体など共同募金の資金を必要とされる方々への助成も減り続けています。

誰もが安心・安全に暮らせる地域づくりのために、共同募金の主旨にご賛同いただき、今年も皆様方の温かいご理解とご協力をお願いいたします。

共同募金は社会福祉法に位置

づけられた運動であり、募金による助成が社会福祉の増進に貢献しているとの社会的評価を得ているため、税制上、国や地方公共団体と同様に寄付に対する『優遇措置の対象団体』になっています。

個人の方からの寄付については、所得税の「所得控除」か「税額控除」のどちらかを選択をすることが出来ます。個人住民税についても「税額控除」が出来ます。

また、会社からの寄付につい

## 今年の募金の使いみち（計画）



支援を必要とされるこども・障がい者・高齢者等を対象に社協が行う地域福祉事業費

### 社会福祉施設の整備費



社会福祉団体、NPO法人・ボランティア団体の活動費



### 赤い羽根号（福祉車両）の整備費



- ・大規模災害時のボランティア活動支援費
- ・火災等小災害見舞金
- ・運動推進費 など

## 社会福祉法人 長崎県共同募金会

TEL 095-846-8682

FAX 095-846-8565

E-mail

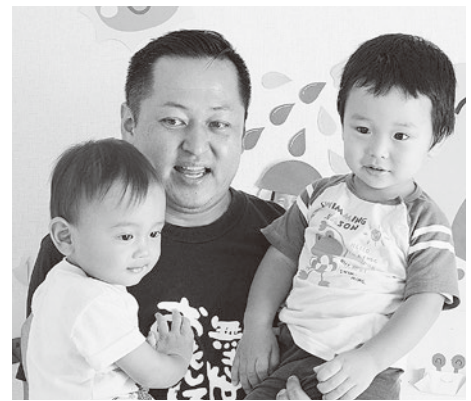
kyobo@akaihane-nagasaki.or.jp

http://www.akaihane-nagasaki.or.jp/

では、寄付金額の全額を損金に算入することが出来ます。詳しいことは、長崎県共同募金会までお尋ねください。

社会福祉法人本来の役割を明確化するために、各法人・施設が創意工夫をこらして実施している多様な「地域における公益的な取組」を紹介します。

第1回  
特別養護老人ホームゆうゆうの里  
(社会福祉法人 明和会)  
施設長 門原淳一さん



【取り組みのきっかけと狙い】

玉之浦町は人口1300人台、高齢化率55%以上です。このまま手を打たなければ将来的には地域も消滅

【過疎の最先端地域で】

五島市玉之浦町にある30床の小規模特養がベースで、各種在宅サービスなどを行っていません。過疎の最先端地域であるため、マネジメントやマーケティングの手法を取り入れ、福祉事業だけではなく、まちづくりにも積極的に関わり実践しています。

ここ数年、力を入れているのが町と事業所の育児支援で、県内初の認可型事業所内保育園「たまちゃん」の開設や、長期休業預かり（夏休みなどに小学生を毎日預かる）、給食がない保育所へのお弁当配達、保育一時預かりなどを実施しています。

し、事業所も維持できないということを独自に分析したことが取り組みのきっかけでした。また、玉之浦町の状況は10年、20年先の県内地域の状況であることは間違いのないため、まずは玉之浦町とゆうゆうの里が少子高齢化過疎問題対策のフラッグシップ（旗艦）となつて、五島市全体をリードする存在になりたいという目標があります。

昨年度は中長期事業計画を一新し、「20年間安心して暮らせる玉之浦町づくり」とおよそ老人ホームとは思えない大きな長期目標を立てて、長期計画として打ち出した5つの方針（地域、人材、環境、ブランド、マニユアル）に沿って事業の方向

性や具体策を決定しています。数値目標としては20年後の玉之浦町の人口を10000人で維持したいと考えています。実践の過程として、職員や地域の困りごとを聞き漏らさず、計画ありきではなくニーズを事業化できるよう心がけています。

【取り組みの効果】

おもにSNSで情報発信していますが、ブランディング（イメージづくり）と職場づくりでは昨年度実績を残しました。職員の定着率が向上し、職場改善の事例として福岡労働局の委託事業で取り上げられたほか、一連の戦略づくりに関して業界団体の全国大会で発表し、賞もいただきました。

事業所には東京からIターンの職員が入職したり、住居手当を見直したことで町内に移り住む職員夫婦がいたり、人口減少に対してのアプローチが徐々に結果を出しています。

町の現状を考えれば、さらに育児支援やUIJターンを取り込み、市内のベッドタウン化をめざすこともひとつの戦略では

ないかと検討しています。

【これから】

まずは事業所による地域支援や地域との協働といった実践を効率的に行います。それらは「玉之浦とゆうゆうのブランディング戦略」として発信していきます。

社会福祉法人でやれることは全力で取り組みますが、実際にはカバーできない地域の困りごとも多くあり、そういったことについては今秋立ち上げの民間会社で担う予定としています。具体的には買い物支援と移動支援をスタートとして、小規模福祉事業所の連携やマネジメントのサポートも考えています。

地域包括ケアシステムや地域共生社会の実現をめざしつつ、住民、行政、組織、社会福祉法人、各事業所の連携によって、楽しみながら地域を持続させるための「玉之浦スタイル」を構築し、住民を豊かにすることが目標です。結果として全国から注目を集める地域にしたいと思います。



参加者の熱気に満ちた会場

『福祉・介護の就職合同面接会』を開催しました

長崎県福祉人材センターでは、去る6月17日(土)、長崎市の長崎県総合福祉センターにて、福祉や介護職場への就職希望及び関心がある学生や一般の方を対象に、「福祉・介護の就職合同面接会(夏)」を開催しました。今年度は、初の6月開催となりましたが、48の施設・事業所の面接ブースやハローワーク等関係機関の相談コーナーに、長崎県内外から106名が来場さ



熱心に質問する参加者に丁寧な説明をする施設・事業所担当者

れました。

会場では、のべ455名が施設・事業所の担当者と面談し、施設の特徴や仕事内容等熱心に質問している姿がみられました。

参加者からは、「たくさんの法人の方と話ができ、興味がわいた」「給与面から職場の雰囲気まで、丁寧に説明してもらえてよかった」との感想が寄せられました。

今回は、9月24日(日)に佐世保会場(JAさせほホール)、9月30日(土)に長崎会場(長崎県総合福祉センター)にて開催いたします。(12月も、長崎・佐世保会場にて開催予定)

面談会同日開催『福祉・介護職場への就職セミナー』

上記面談会同日の午前中は、求職者を対象に『福祉・介護職場への就職セミナー』を開催しました。

セミナーでは、『自己の魅力を最大限に引き出す面接テクニック』と題して、イメージコーディネーターの河内房子氏による講話があり、参加者は講師の話に真剣に耳を傾けていました。参加者からは、「改めて挨拶の仕方や言葉遣いの重要さに気づいた」「ロールプレイングによる演習が大変ためになった」と好評でした。



「内容が濃く勉強になった」と好評

「介護職員相談窓口」を開設しています



平成27年度より、毎月1回(第3火曜日)、介護職の方を対象とした相談窓口を設置しており、昨年度は12名の方が利用されました。キャリアアップについてのご相談や、介護の仕事を続けていく上での不安等、ご相談のある方は、左記問い合わせ先までご連絡ください。(要予約・相談無料)

なお、遠方の方など、ご都合により来所が困難な方向けに、平成29年7月より、お電話による相談窓口も新たに開設いたします。開設時間は、平日午前9時から午後5時15分までとなっています。お気軽にご相談ください。

問

県社協 福祉人材研修センター  
相談窓口専用ダイヤル

☎ 095-894-4006

※予約もこちらで承ります。



7月12日、南有馬中学校3年生・教員・保護者の総勢48名が、4班に分かれて特別養護老人ホームとデイサービスセンター



県社協は福祉・介護の仕事の大切さと魅力を伝えるため、小中高校生向け「基礎講座」、小中高生や保護者、学校教員、子供会等団体向けの「学び体験ツアー」を今年度も実施しています。

福祉・介護の魅力を知らう！  
福祉の「しごと」基礎講座  
介護の「しごと」学び体験ツアー



で学ぶツアーを体験しました。それぞれの施設を施設職員から説明を受けながら見学し、利用者の方々とゲームなどで交流。二つの班では保育園児も一緒に楽しみました。

午後からは、福祉のしごと基礎講座で、本会職員が資格入門ガイドやパンフレットを使って分かりやすく説明などをしたあと、施設職員の方からその仕事の魅力ややりがいを紹介していただきました。

最後に、これから高校に進学する生徒たちへ、将来のことを考えながら進路を決定していく中で一番大切なのは「自分が何をやりたいのか」「将来どんな

人間になりたいのか」をしっかり考えた皆さんの情報を収集して自分で自分の道を決定すること、そのとき『福祉の仕事に就きたい』と思ったら、県社協福祉人材センターに相談してほしいことを伝えました。

〈アンケートから〉

- 何でもしてあげないといけないと思っていたが「できないことに手を差し伸べるだけでもいい」なら自分にもできることもかもしれない
- 「福祉」は自分たちにも関わることだとわかった
- プロとしての誇りをもって仕事をしている
- 「来てくれてありがとう」とたくさん利用者から言っていたので嬉しかった
- 地域に寄り添った施設で感動した
- 大変なだけではなく、人生の大先輩を大切にやるやりがいのある仕事だと感じた

問

県社協 福祉人材研修センター

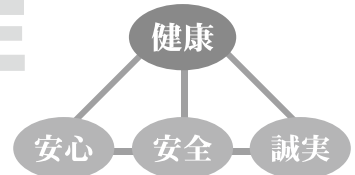
095-846-8656

HEALTH & QUALITY LIFE  
明るく健康な未来に向けて

すべては「健康」のために・・・私たちは誠意と熱意で応えます。



お客様のニーズにあった商品を豊富に取り揃えております。



〈事業内容〉

医薬品、防疫薬品、医薬部外品、化粧品  
健康食品、健康関連用品の取り扱い。

大日商事株式会社

TEL (06)6952-7015

FAX (06)6952-7137 大阪市旭区大宮4丁目18番18号  
東京営業所 東京都大田区西蒲田7-4-3-406 TEL(03)-5713-0381







県社協出口会長(左)とJC長崎ブロック谷川会長(島原復興アリーナ)

県社協と日本青年会議所(以下、JC)九州地区長崎ブロック協議会(以下、長崎ブロック)は、7月28日、県内市町が設置する災害ボランティアセンターへの運営支援に関する連携協定を締結しました。

JCは、20歳から40歳まで社会的リーダーを志す若手経営者による会で、長崎ブロックの会員は約400名。多岐にわたる職種と全国的なネットワークを擁しています。

これらの強みをいかし、災害

平時からの繋がりをも「災害ボランティアセンター運営支援で青年会議所と協定締結」

問 県社協 地域福祉課  
095-846-8618

ボランティアセンタースタッフやボランティアとしての参加のほか、災害救援活動に必要な資器材等の提供・貸与の協力などで情報共有し連携することとしています。

平時においては協定の円滑な運用と総合的な調整を図るため、連絡会議を随時開催するほか、被災者支援に関する研修等情報の相互提供・相互参加を行うこととしています。

協定締結後、JC長崎ブロック谷川会長は「情報共有や指揮系統の整理等をしながら災害に立ち向かっていきたい」、県社協出口会長は「JCを通じて、必要な資器材の準備等に迅速に対応できるのではないかと大いに期待」と語りました。

長崎県内には、長崎・佐世保・島原・大村・福江・諫早・北松浦の7つの地区青年会議所があります。今回の県域における運営支援協定締結をきっかけに、それぞれの地区でその地域に合った具体的な連携に向けた動きが期待されます。

ボランティアセンタースタッフやボランティアとしての参加のほか、災害救援活動に必要な資器材等の提供・貸与の協力などで情報共有し連携することとしています。

平時においては協定の円滑な運用と総合的な調整を図るため、連絡会議を随時開催するほか、被災者支援に関する研修等情報の相互提供・相互参加を行うこととしています。

協定締結後、JC長崎ブロック谷川会長は「情報共有や指揮系統の整理等をしながら災害に立ち向かっていきたい」、県社協出口会長は「JCを通じて、必要な資器材の準備等に迅速に対応できるのではないかと大いに期待」と語りました。

長崎県内には、長崎・佐世保・島原・大村・福江・諫早・北松浦の7つの地区青年会議所があります。今回の県域における運営支援協定締結をきっかけに、それぞれの地区でその地域に合った具体的な連携に向けた動きが期待されます。

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

平成29年度

# ボランティア活動保険

全国200万人加入!!

## 保険金額

保険金の種類		プラン	Aプラン	Bプラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,320万円	1,800万円	
	後遺障害保険金		1,320万円(限度額)	1,800万円(限度額)	
	入院保険金日額		6,500円	10,000円	
	手術保険金	入院中の手術		65,000円	100,000円
		外来の手術		32,500円	50,000円
	通院保険金日額		4,000円	6,000円	
	特定感染症の補償	上記後遺障害、入院、通院の各補償金額(保険金額)に同じ			
賠償責任の補償	葬祭費用保険金(特定感染症)		300万円(限度額)		
	賠償責任保険金(対人・対物共通)		5億円(限度額)		

## 年間保険料(1名あたり)

タイプ		プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ			350円	510円
	天災タイプ(※) (基本タイプ+地震・噴火・津波)		500円	710円

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険 検索

(※)天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが(天災危険担保特約条項)、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

## 保険金をお支払いする主な例



## ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

## 送迎サービス補償

(傷害保険)

## 福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
TEL: 03(3349)5137  
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763  
営業時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

(SJNK16-16921 2017.2.3作成)

第52回長崎県市町社会福祉協議会  
連絡協議会総会

長崎県市町社会福祉協議会連絡協議会(略称・連絡協)の52回目となる総会を7月13日に開催しました。



総会では、28年度の事業・決算報告、29年度の事業計画・予算の協議のほか役員改選が行われました。

【新役員】

会 長 長与町社協 藤井事務局長  
副会長 大村市社協 有川事務局長  
副会長 壱岐市社協 永田事務局長

総会にあわせ、13日に研修会、翌14日に講演会を実施しました。

研修会「社協実践報告！長与町・時津町社協」(48名参加)

今年度の総会担当社協(長与町・時津町社協)の両会長による町の紹介に続き、時津町社協松尾雄治さんからサロン活動、長与町社協竹山裕太郎さんから高齢者が自宅で安心して暮らせる仕組みづくりについて報告さ

れ、報告をもとに参加者全員で意見交換を行いました。



講演会「人口減少社会と地域福祉」社会福祉協議会への期待(47名参加)

九州大学大学院人間環境学研究院教授高野和良氏を講師に迎え、地域福祉活動における課題や誰もができる限り地域で暮らし続けるための地域福祉サービスの展開について学びました。今後の各市町社協の事業への取り組み方について再考していただくきっかけとすることができました。

「寄付ありがとう」です

- 一般財団法人 長崎県職員互助会 様
- 古川 直人 様
- 石木 一行 様

長崎県社協の事業に賛同し、応援して下さる方からの寄付をお待ちしております。

みなさまからいただいたご寄付は、地域福祉の振興に活用させていただきます。

社会福祉法人へ寄付を行うことで、個人の場合、寄付金控除が受けられ、会社の場合、損益算入額と同額の損金算入をすることができま

長崎県社協への寄付については

長崎県社協 寄付



寄付金控除については

社会福祉法人 寄付金控除  
(国税庁HP)



問 県社協 総務課  
095-846-8600

自動車共済 MAP (任意保険)

福祉にかかわる皆様だけの お得な割引制度

共済制度のメリット

- 非営利の共済制度
- 節約型のお得な掛金
- 早くて親切な事故処理
- 他保険会社等からの切替でも安心
  - ノンフリート等級(無事故割引等)、フリート優良割引などはそのまま引き継げます。

- 1 福祉車輛割引 3%
  - 消費税非課税措置の対象となる福祉車両の契約の場合。
- 2 障害者割引 10%
  - ご本人(記名被共済者)、配偶者、同居のご親族のどなたかが障害者の認定を受けているご家庭の契約の場合。
- 3 福祉施設割引 10%
  - 社会福祉施設が所有・使用する自動車の契約の場合。
- 4 福祉施設職員割引 5%
  - 社会福祉施設に勤務する役員・従業員の契約の場合。



長崎県火災共済協同組合

長崎市桜町4-1 商工会館8F  
TEL095-822-9695

ふれあいのあるまちづくり県民運動「ボランティア活動振興・助成事業」のご案内

**対象団体：**長崎県内で募集期間開始前日までに1年以上の活動実績がある、ボランティア団体、市民活動団体、NPO団体、高齢者・障害者等の当事者団体、市町社会福祉協議会、小・中学校、高等学校、専門学校、短大・大学等です。

**対象事業：**①福祉・医療・保健に関する事業、②国際協力に関する事業、③自然・環境保全に関する事業、④芸術・文化に関する事業、⑤福祉教育、⑥その他、本会が認める事業

**助成金額：**1団体上限30万円とします。(1万円、3万円等の少額助成希望でも応募可能です。)

**募集期間：**平成29年9月1日(金)～平成29年11月30日(木) 15時必着

※詳細は、ホームページに掲載している交付要領をご参照ください。

<http://www.nagasaki-pref-shakyo.jp/volunteer/>

**問合せ先：**長崎県社協ボランティア振興課  
TEL：095-827-4872

まってるよ



長崎市出島町2-11  
出島交流会館5F

〒850-0862

☎ 095-827-4872  
☎ 095-827-4862

**問 応募先**

県社協 ボランティア振興課

詳しくは、「長崎県社会福祉協議会ボランティアのひろば」で検索いただくか、左記までお問い合わせください。

ボランティア川柳  
大募集!



ボランティア活動を通じて、感動したこと、気づいたこと、体験したことなどをテーマにボランティア川柳を募集します。

対象は、長崎県内在住で、7月1日から開催されているサマーボランティア・キャンペーンで活動をした方や普段ボランティア活動をしている方です。

入選者には、副賞として賞金を贈呈します。ぜひ、皆様のボランティアへの想いを五・七・五に載せてご応募ください。

**問**

県社協 生活福祉課

☎ 095-846-8639

教育支援資金は長崎県育英会または日本学生支援機構(給付型、第一種奨学金)、母子父子寡婦福祉資金(ひとり親家庭)を借りることのできない方や、それらの資金では学費が不足する低所得の方などが対象となります。

貸付のご相談の窓口は、お住まいの地域の民生委員、または市町社協となっております。なお、初回のご相談から送金まで、1ヶ月程度かかる場合があります。毎年2月以降に申し込みが集中することから、入学金などの納入に間に合わないこともあります。ご相談は余裕をもって、お早めにお願います。

次年度進学をお考えの学生の方へ(お知り合い・お願い)

教育支援資金は、所得の少ない世帯に対し、高校や大学、短大、専門学校などに進学する際に必要な経費や、学費を貸し付ける資金です。

編集後記

今年4月に初めての異動をした。命じられた時、瞬時にいろいろな思いがよぎり、つぶやいた。できるかな…。初めての部署、初めての仕事、初めての人たちとの電話や会話、いい歳をした私だが毎日が緊張の連続で、泣き言を言いつつなんとかやれているのかな?(笑)。ともあれ未知の世界を見せてもらえる機会をいただいた。欲張ってたくさんのごこと吸収しようと思う、自分のために。(a)

研修・イベント

■傾聴ボランティア養成講座(連続5回)

10/14(土)・10/21(土)・11/19(日)  
12/2(土)・12/9(土)

会場 県総合福祉センター3階講座室  
問 県社協 ボランティア振興課

■ながさき介護ありがとうフェア  
11/3(金・祝)

会場 ベルナード観光通り(長崎市)  
問 県社協 福祉人材研修センター



長崎県内の福祉施設で作られた素敵な作品を紹介し  
ます

— さをり織り —

さをり織りは、自分の感じるままに、好きに織る手織り。見本も、失敗も制約もありません。

たくさんの色の糸を使って織られた作品に同じものはなく、自分にぴったりくる作品を探すのも楽しみの一つです。

トートバッグ (社福) 三恵会 わかばの里

<https://nagasaki-sankeikai.jimdo.com/>  
ブルー 5,500円 ピンク 4,300円

ティディベア さをり工房ながさき

<https://www.facebook.com/saworikoubounagasaki/>  
大 3,500円 小 1,800円

お問い合わせは「ふれあいショップ」へどうぞ

☎ 095-846-8022



ながさきのふくしクイズ

日本で最初に共同募金が行われたのは、いつ(西暦と元号、月)、何県でだったでしょう?

正解者の中から抽選で3名様に、(社福) ゆうわ会 ながさきワークビレッジの「菓子詰め合わせ」または「マグネット4個セット」をプレゼント。当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

応募方法

はがきにクイズの答えと①希望プレゼント②住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号、業種③本誌に対するご意見・ご感想・ご要望をすべてご記入の上、下記までご応募ください。締切：平成29年10月20日(金)

宛先

〒852-8555 長崎市茂里町3-24  
長崎県社会福祉協議会  
「ながさきのふくしクイズ係」

- ◇ ご記入の個人情報は適切に管理し、目的以外に使用しません。
- ◇ 本誌に対するご意見・ご感想・ご要望の一部は、「読者のお便り」に掲載させていただく場合もあります。

福祉関係団体の声を届けました  
知事表敬訪問・県福祉保健部長との意見交換会

7月10日(月)、長崎県社協と長崎県社会福祉法人経営者協議会(経営協)の主催で、社会福祉施設・地域福祉推進組織11団体の代表の皆さんが、中村県知事を表敬訪問しました。

経営協の佐藤会長は、社会福祉法人制度改革に伴い、各社会福祉法人が経営の透明性の確保、地域公益活動の推進・財務規律の強化等に取り組んでいる中、本県では経営協が中心となり昨年8月から「生計困難者レスキュー事業」を実施していることを伝え、地域共生社会の実現に向け「福祉人材確保」が最大の課題となっていることを述べ、より踏み込んだ具体的な支援を県へ依頼しました。

それに対して、知事より長崎県における人口減少問題が深刻化するなかで、福祉分野での雇用の重要性に触れ、若者や女性、高齢者など多様な人材が、福祉分野で活躍できるよう県としても様々な施策を通して協力した



いとの発言をいただきました。また、同日実施した沢水福祉保健部長との意見交換会では、高齢・障害・児童などの種別協議会等から個々に提出された県への提言や要望に対する文書回答とともに、沢水部長はじめ各担当課長からの丁寧な回答と説明があり、それを踏まえての充実した意見交換となりました。